○新宿グランドターミナル・デザインポリシーの見直しにおいて、**下線部（赤字）**及び**囲い部分（赤色）**を追加

Ⅶ　新宿の多様な個性を活かした新たな景観

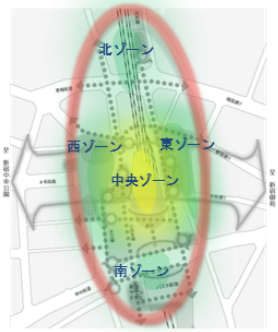
【中央・西・東・南・北ゾーン】

■デザインポリシー

まちの個性を活かした「新しい新宿」をつくる

■現状

○新宿駅周辺の東西南北のまちは、異なる個性を持っている。
○鉄道によって、まちとまちのつながりが弱い。
○新宿中央公園と新宿御苑のまちとの関わりが弱い。



■新宿の多様な個性を活かした新たな景観

形態・意匠

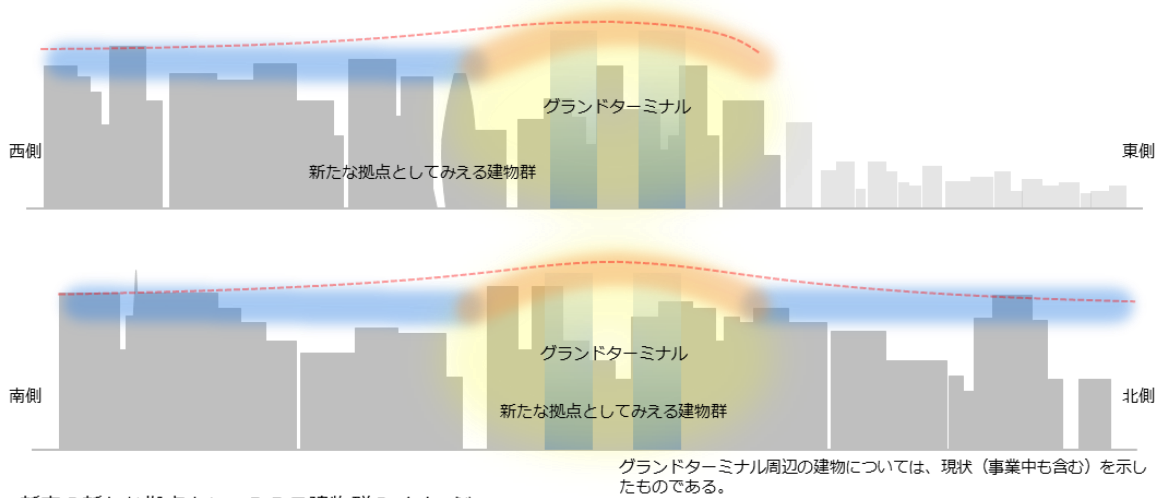
【近景・中景】
異なる新宿の個性や人の活動を象徴するデザイン　～まちの個性と人の活動を表出させる～
（略）

【遠景】
まちの新しいランドマークとなるデザイン　～個性が一体となった拠点としてみせる～

○様々な場所からの見え方に配慮した設え
（略）

○新宿の新たな拠点としてみえる建物群
・中央ゾーンを囲む東西南北の４つゾーンが、それぞれの個性を表出しつつ、既存の個性ある超高層ビル群と一団となって、グランドターミナルを中心とした新たな拠点を象徴する建物群をつくる。そのため、グランドターミナルにおいては、260m程度までの高さを可能とし、既存の高さ240m程度の超高層ビル群との調和に配慮しながら、なだらかな丘状のスカイラインを形成する。

【夜間景観】
新しい夜間景観をつくる光の演出　～夜間もまちの個性を演出する～
（略）



グランドターミナル周辺の建物については、現状（事業中も含む）を示したものである。

●新宿の新たな拠点としてみえる建物群のイメージ